

MOA 美術館  
リニューアルオープン記念 第3弾

# 琳派の美と光琳茶会の軌跡



2017年4月28日 | 金 | - 6月6日 | 火 |

尾形光琳（1658～1716）は、本阿弥光悦や俵屋宗達の作風を慕いながら、独自の画風を築き上げた琳派の大成者として知られています。MOA美術館は、昭和60年、開館3周年記念事業として小西家文書（文化庁蔵）の中にある光琳筆の図面や大工仕様帖等の資料を基に光琳屋敷を復元し、これを機に茶の湯文化の普及・振興と、光琳芸術の顕彰を願いとして、光琳茶会を発足しました。毎年2月に開催される本茶会は、国内有数の美術商・数寄者のご協力のもと、毎回趣向を変えながら開催され、数多くの光琳作品が展覧されました。

この度、当館では、「琳派の美と光琳茶会の軌跡」を開催いたします。本展では、これまで各席で展覧された光琳の優品と共に、館蔵の光悦、宗達、光琳、乾山、抱一など琳派作品の中から光琳茶会にて取り合わせた作品を紹介し、その軌跡をふりかえります。時代を超えて人々に愛玩されてきた琳派作品をご鑑賞ください。

## 見どころ

### 1. 光琳の優品と第1回濃茶席の取り合わせを再現！

本展では、尾形光琳筆「恵比寿図」や「夢想大黒天」、「寒山拾得図」をはじめ、光琳茶会32年の歴史の中で、これまで各席の床に掛けられた尾形光琳の優品を展覧します。

さらに、第一回光琳茶会における濃茶席（根津美術館）の道具組みを再現します。光琳の名作と茶の湯の名品との取り合わせの美をご鑑賞ください。

### 2. 光琳をはじめ琳派の作品で織りなす美の空間

館蔵の光悦、宗達、光琳、乾山、抱一など琳派作品の中から光琳茶会にて取り合わされた作品を展覧し、その軌跡をふりかえります。



〔図1〕

## 出品作品

1. 尾形光琳作 扇面業平蒔絵硯箱 根津美術館蔵 (図1)
2. 尾形光琳筆恵比寿図 個人蔵 (図2)
3. 尾形光琳筆 夢想大黒天図 個人蔵 (図3)
4. 尾形光琳筆 寒山拾得図 双幅 個人蔵 (図4)
5. 尾形光琳筆 扇面乙御前図 (前期展示 4/28～5/17) 個人蔵 (図5)
6. 尾形光琳筆 草紙洗小町図 当館蔵 (図6)

他約60点 ※都合により変更することがあります。



〔図2〕



〔図3〕



〔図4〕



〔図5〕 ※前期展示



〔図6〕 部分

## 会期中のイベント

### 1. 当館学芸員による美術セミナー - 尾形光琳とその画業 -

日時：平成 29 年 5 月 20 日（土）13:30-14:30

場所：MOA 美術館スタジオ

料金：無料（入館料は別途必要）

定員：120 人（要予約・先着順）

### 2. 学芸員による光琳屋敷ガイドツアー - 復元光琳屋敷の見学と、茶室で和菓子・抹茶が楽しめる -

日時：平成 29 年 5 月 13 日（土）13:30-14:30

平成 29 年 5 月 27 日（土）13:30-14:30

場所：MOA 美術館 光琳屋敷

料金：無料（入館料は別途必要）

定員：各回 20 人（要予約・先着順）

申し込み・問い合わせは TEL: 0557 (84) 2531 「展覧会イベント」係



光琳屋敷外観



和菓子と抹茶  
※イメージ

## 開催概要

会期：2017 年 4 月 28 日 | 金 | - 6 月 6 日 | 火 |

会場：MOA 美術館 展示室 1-6

〒 413-8511 熱海市桃山町 26-2 TEL: 0557 (84) 2511

URL: <http://www.moaart.or.jp>

開館時間：午前 9 時 30 分 - 午後 4 時 30 分（入館は午後 4 時迄）

休館日：毎週木曜日（祝日は開館）

観覧料：一般 1600（1300）円 / 高大生 1000（700）円・要学生証 中学生以下無料  
65 才以上 1400 円・要身分証明

※（ ）内は 10 名以上の団体料金

※障がい者手帳をお持ちの方と付き添い者（1 名のみ）半額

※前売り券は、お近くのコンビニエンスストア（セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、サークル K サンクス）、チケットぴあ、イープラスでもお求めいただけます。

交通：JR 東海道新幹線・東海道線 熱海駅下車

駅前バスターミナル⑧番のりばより MOA 美術館行 約 7 分 終点下車